

第5回 これからの図書館を考える市民ワークショップ 実施報告

- 開催日時：令和6年3月10日（日） 13:30～16:15
- 開催場所：商工観光センター 4階展示交流室
- 参加者：35名（うち司書3名）10代～80代（男性15名、女性20名）
- 傍聴者：3名
- 内容：～これからの図書館についてみんなで考えよう～
 テーマ：「中央図書館にこんなスペース、こんな設備があるといいな」
 「これまでのワークショップを振り返り未来を描こう」
 - 前回の振り返り
 - 中央図書館の計画について説明
 - グループワーク（図書館井戸端会議）
 - 図書館と「私」を想像して、発表しよう
 - 副市長挨拶
- 図書館再編アドバイザー：常世田 良氏（舞鶴市図書館協議会副会長）
- ファシリテーター：谷口 知弘氏（福知山公立大学 地域経営学部 教授）
- グループワークで出た意見(今の図書館の魅力と課題)

今の図書館の魅力	今の図書館の問題
・こじんまりしていて意外とくつろげる ・適当な古さ ・居やすいスペース ・子供連れでなじみやすい場所になっている ・絵本のコーナーは子供連れが時間もつぶせて良かったです ・子ども用のテーマ展示コーナーがいつもステキです！ ・大きな問題ない（地域のニーズを満たしている） ・貸出冊数が多い。絵本をたくさん借りれる ・多様な本がある ・学生の将来のお仕事への応援本ととても多くなっている ・イベントがある ・定期的にイベントが行われている ・司書の皆さんが親切なので、安心して質問できるのありがたい ・最近ネット登録をした。予約確保の連絡があり便利に使っている ・現在の府内の図書館での図書の貸し借りは大変ありがたい ・東の場合…老人や学生・子どもたちが多く使用されている。場所がいいのではないだろうか？近くに図書館があるからではないだろうか？	・Wi-Fiがない、PCが使えない ・ロッカーがない（荷物あずけたい） ・駐車場が少ない ・駐車場の広さの問題 ・駐車場スペースが足りない。中央図書館になると遠方からの人が増えるので、駐車スペースは広くないといけない。電気自動車の充電 ・自転車で行くので、雨の日レインコートをかける場所がほしい ・トイレ ・会議室機能が弱い。ない ・子どもの声がうるさいと注意される ・こどもを静かにさせないといけない ・市民が自由に使えるスペースが少ない ・利用時間が短い ・勉強時に意見を交わせる場所がない ・ゆっくりできるスペースがない。室内にも外にも ・分館機能が弱い ・絵本の種類が少ない、シリーズがそろっていない ・レファレンスにつかえる資料少ないのでは？ ・資料が少ない ・マンガがない。学習マンガがない ・専門書が古すぎて調べものができない

	・前月分の新聞を見たいとき、司書に言わなければいけない ・資料の取寄せをもっとスムーズにできるようにしてほしい。 ・司書が少ない ・司書の皆さんが実力をつけて、視野広く社会教育分野のコーディネーターになってください ・市民の担税力が低下傾向なので、図書館の本は、舞鶴市に本社機能がある本屋さんから本を購入してください ・強みとなる特色がない ・若者が少ない→若者の本離れ→マンガ、短編（舞鶴市民が作る） ・学生の学習支援は少ない。教科書（違う出版社）、問題集→高いのもあり、メルカリなどでも買えるけど
--	---

➤ グループワークで出た意見(中央図書館にこんなスペース、こんな設備があるといいな)

	開架・読書スペース	管理・運営スペース	市民ひろば+アルファ
スペース	・自動貸出機。24 時間予約本受取はもらえないと思う ・子どもが利用する部屋はポップな楽しい空間に ・新聞を読む専用スペース ・子どもが多少さわりでも安心して本を読んだり選べるスペース ・ゆったり見れる書架 ・いすが場所ごとにある ・段差をなくす ・DVD・CD 視聴ブース ・調理室 ・個別グループで情報発信スペース ・授乳室の設置 ・資料は年々増加するので充分すぎるように見えるかもしれない広い開架書庫 ・個別学習もできるグループ学習もできるスペース設備 ・車椅子で自力で書架の間を通過できる ・電車をながめて座るスペース ・ライブ、演劇、発表会の時の会場になるスペース	・シアタースペース。ある程度の大スクリーンとマルチスピーカーによる多フォーマット音響（サウンド）設備を持たせる ・子どもが遊べるスペース ・書庫が見える ・公園がある ・電車が見えるテーブルを作る ・外構だけ作る（花・木） ・広い作業スペースがほしい ・職員さんの働きやすい導線 ・配送に携わるスペース ・ひろば、運動教室 ・市民と図書館を継ぐ（ボランティア等…）スペースがほしい ・静かに勉強できる個室の様ながあればいい ・カフェでも自販機でもいいので、お茶ができるような施設 ・資料の置き場所、管理する広いスペース ・多様な働き場所（人にあった仕事で） ・BM 車書庫	・飲食のできるスペース ・おすすめ絵本の POP 展示（市民が作成） ・集会スペース ・展示スペース ・もらえない本を寄贈できるスペース（自由に読んだりもらったり） ・託児所 ・託児がある（有料、曜日を定める、などでも） ・マルチユーススペースが個別スペースとしてある（目的・読書犬） ・カフェ、日替わり（ひさしの下でキッチンカーとか、フリーマーケットみたい） ・おはなしの部屋 ・子ども達と高齢者との交流の場 ・市民で売店、カフェスペース ・撮影等ができる部屋（動画もあり） ・広い空間をつくって、のんびりとくつろげる場所を！ ・趣味の展示できる場所 ・月 1 回楽器演奏できる場所（朗

	・乳児用スペースを併設すること ・階段ホール音楽イベント ・子供のかくれが、基地的な落ち着く場所があると良いな ・たくさんの企画展があると楽しい ・会話 OK なスペースとサイレントスペースとの住みわけ ・開放的 ・マンガコーナー ・開放的な読書スペース ・たたみの部屋 ・おはなし用の部屋があるといいな ・新しい中央図書館の使い方や過ごし方、スペース。くつろぎができるスペースが有れば良い。子供達が絵本に親しめるスペースがほしい。静かに読書できる場所も必要 ・一日最大収容入場者から逆算してスペースを考えるべき	・研究資料管理室 ・いろいろなものを作らない。シンブルな図書館 ・図書館ボランティアが集まる部屋が欲しい ・市民の活躍の場。生きがいとして市民活動、図書活動（本の修理、読み聞かせ、除本販売） ・図書を図書館内で読むスペースの配置をよく考えてほしい (例)窓際の景色を見ながら図書ができるありがたい ・4000 m²に戻せ！ ・近い将来に閉架書庫スペースが満杯になることを想定して当初から書庫を拡充・増築可能な敷地を確保しておく ・駐車スペースは無料に	読、人形劇) ・かんたんなものでよいので、カフェはほしい ・趣味の会の情報交換スペースがほしい。この指と～まれのな！ ・司書の方々が元気で働けるように休憩スペースをつくっておく ・会議、イベントができる部屋 ・学生だけ利用できる部屋 ・子どもたちがさわりでもいいスペース ・カフェ（友達と） ・夕方以降の活動ひろば ・お昼寝スペース設ける ・大部屋を作り、目的に応じてパーティションで大きさを区切る ・緑が豊富な公園でのんびりしたい。弁当を食べるスペース ・漁を学べる部屋。税や林業を学べる部屋 ・竹でできた部屋、竹加工の部屋。 ・昼寝スペース ・実験ルーム ・練習スペース、ライブスペース ・趣味の発表の場 ・飲食スペース ・企業紹介スペース（自衛隊、消防、保安庁紹介スペース ・ひきこもりの部屋 ・ざんげの部屋、大笑いする部屋、大声を出す部屋 ・本をかりなくても立ち寄れるスペースがあるといいな…カフェとか庭とか ・不登校の子の居場所 ・イベントスペースを絵画や市民の作品を展示したり、交流できる市民ギャラリーで利用できるものを ・個室スペース ・市民が活動することを支援する
--	---	---	--

			スペース ・講演会等ができるスペースがあれば良い ・誰もが立ち寄れる図書館にしてほしい。サークル活動で集まれるように！！ ・単なる休憩場所として活用できるスペース。公民館、資料館も含めた総合生涯学習施設として位置付ける ・明るく、きれいな外観とするために、アースカラーを利用するのも一案では ・駐車場。図書館と駅の利用者を区別しないといけない ・複合施設の中に図書館がある施設で、子供・高齢者が集まれるスペースの確保をお願いしたい ・遊園地と併設
設備	・せめて高速 SA のトイレ程度には整備してほしい。 ・ねころんで読めるソファ ・いろいろな椅子 ・窓が大きく明るいといいな ・トイレを美しい箱物にしてほしい ・駅との間に通路を作ってすぐ入館できる ・天井高くするとおしゃれに見えるかもしれないけど後々のお手入れが大変なので高くしないで	・収容台数に余裕のある駐車場と EV 充電設備の充実（非常時は VtoH(B)システム） ・冷蔵・冷凍のロッカー（買い物帰りに利用できる） ・視覚障害の方の録音ボランティアの活動できる部屋 ・できるだけランニングコストの低い（安い）基本設計（ZEB、再エネ利用前提） ・太陽光発電を屋根にのせる ・災害時の拠点 ・ソーラーパネル ・設備を固定してしまわないで多目的にも使用できたらいい	・バリアフリー、授乳室、車いす、シニアカー（弱者にやさしい） ・音楽スタジオ ・YouTube 作成する部屋 ・＜キッチンスペース＞料理（公民館にあるようなイベント用の）、子ども食堂、これから出店したい人が一定期間オープン（昔市役所があったブリックハウスのような） ・災害時の避難場所（自家発電、災害に強いづくり） ・だんろ。市民が木を切ってもっていく ・舞鶴の冬は、雨が多く、冷たく、うらさびしいので、外観や内装は、美しく、あたたかみを感じる配色・色彩にしてほしい ・舞鶴市の施設は「吹き抜け」が多いが、「子どもが落ちてケガしないかなあ～」と心配です。吹き抜けはつくらないで

資 料 (本)	・地域のニーズに合った本を揃える ・ハングル資料充実させて ・過去に書庫に入って本を探したかったことがある ・地域の人達に関わる本棚（もちこみ） ・貸出返却を自動機械で（司書の仕事削減） ・他市の図書をタブレットにダウンロード ・タブレットで読書、モバイル ・現在 20 万冊と言われているが、27 万冊ではあまり増える感じにならないが… ・地元、地域出版の本（私本）も常に開架して頂きたい ・中学・高校と考える（課題）学習が増えている 例）理探の卒論→論文 ・何故短いほうが好まれるか？ →短いほうがたくさん読めて、得のように感じるから →Youtube Short の普及…おススメの本に読了時間（めやすを表示する） ・ドライブスルー 24 時間貸出	・リモートで図書貸出予約が出来る、時間外でも受け取れる ・予約の本を 24 時間いつでも受け取れるロッカー ・ドライブスルーで 24 時間借りられる ・24 時間借りれる、返せるシステム ・書庫 20 万冊は維持？	・不要本の受付 ・定期的に対面で好きな本を読んでもらえたら良い
事業	・あそびあむ利用者にリサーチ。子育て中の方々の意見要望も聞いて参考にする ・書架の整理のサポート ・読書会の運営 ・京都中丹地域の図書館で利用できるカード ・自分の調べたい事柄のサポートをして欲しい ・大人のための読み聞かせもあると嬉しい	・他の市の図書館との連携 ・レファレンス記録を残す ・花火の日開放 ・花火が見えるちゃった祭り、夜間開館 ・ドローンで配達 ・司書さんたちとの意見交換 ・月 1 回司書と会話する日を作る ・自分アピールの放送局 ・学校への図書の貸し出しを持ち帰った時の整理など手伝えたら ・自動車図書館で現地でお手伝いする人がいると良い ・バックヤードツアーを定期的に関催 ・週 1 回ボランティア会議	・朝市をして欲しい（野菜、果物 etc） ・年代をこえた話し合いができるワークショップ ・町の文化を考える ・学生中心に運営できるワークショップ ・おすすめの本の情報をポストで募集して発表してほしい ・「まち作り」の機能。図書館が社会見学してもらえるような場所に ・図書館の仕事体験（子どもも大人も） ・テーマを決めた講座・作品展を開催する

		・司書の方のトークイベント（図書館うら話） ・新図書館の机やイスを市民が選ぶ ・市政報告、意見交換会 ・学校の連携強化 ・学校図書館と療育センターなどと連携して、司書が出向き、学習とできるようにしてほしい	・まちづくりに関すること ・NPO 法人の活動拠点 ・観光ボランティアクラブの活動拠点 ・季節行事を市民みんなでチャット GPT に相談できる ・漢字検定会場（希望者〇名から出来るとか…）
広報	・SNS での広報活動例）小説紹介のような動画	・図書館の発信をサポートする活動…	・駅に図書館イベントのお知らせ ・SNS の発信（高校生に手伝ってもらう）
分館	・東館の規模維持	・分館に対してのオンラインレファレンス（自宅からでも） ・分館の充実。子どもと本を選ぶよう。また子どもと本が読めるようなスペースを！ ・分館候補まなびあむに入れるのに、車の通行路を横切って行くのは危険	・分館を既設の施設でと言っているが…赤レンガパークの新しく整備される！棟を利用して
その他	・図書館としての基本機能の高い図書館（本の数、本の登録、新しい情報（新刊）） ・多様な働き方、過ごし方→それに対応できる利用時間 ・のみなながら読める ・地域のニーズの把握	・ボランティア参加 ・開館時間 9:00～閉館 20:00 頃 ・音楽を流す ・永く使える図書館をつくってほしい。必要に応じて変えていける使い勝手の良いものを ・司書の方を増やしてほしい ・何もかも図書館でなくても公民館と協力していく事も必要ではないか ・災害の時にも活用できる図書館 ・市民活動と専門家をつなぐ司書さん ・中学校区に一人の学校図書館司書が必要	・西駅周辺の景色を活かしてほしい。五老岳がドーンと見られる場所を ・JR 西駅のヨコなので、大きな窓から列車が見られるように←子どもたちが楽しめる ・外と内を混ぜる ・花火が見えるらしい ・子どもとあそびがてら行けるとか、仕事帰りにコーヒー買えるとか ・独居老人が一人で来てもほっこり楽しめる ・特に子供（小学低学年まで）に図書館、本を読むことの大切さ、おもしろさを教えられる司書さんの養成をお願いします。 ・開館時間帯を広くお願いしたい。9 時～20 時程度

➤ 図書館と「私」を想像してみよう

(新しい図書館ができたなら、「私」こんなことしてるかも?)

- 本を中心に、様々な年代の方と話ができる場所
 - ・各々の仕事に関する知識交換
 - ・市民が舞鶴の活性化に参加できる場所
 - ・知りたい事がすぐわかる場所（ネットもあり）又は知っている方を紹介してくれるサービス
- 図書館での活動を通して、地域の人と話し、舞鶴のことについて考えたい！
 - ・気軽に話せる場所（カフェとか）がほしい
 - ・移動図書でいろいろな人と会う
 - ・出張ゼミ室
- 専ら図書を読み考える最適な場所、資料を収集することができる（普通ですがこれが基本です）
 - ・友人と出会い意見交換、情報共有する
 - ・子供たちと（電子）おもちゃを作ることができる（IC、LED、プラモデル）
 - ・思いつきのコンテスト開催
- 情報の集積場所
 - ・舞鶴引揚記念館がユネスコの歴史遺産に登録されているので、図書館が歴史遺産を上手に活用して特色あるものにしてはどうか
 - ・読書週間に市民一般から読んだ本の読書感想文のコンテストを開催してはどうか。
優秀者には図書券をプレゼントする
 - ・特に低学年の子供が集まって、自分の好きな本を選んで意見発表をする機会を設けてあげる
- 図書館ツアー（バックヤード、司書さんとの懇談）を実施する+近所をぶらぶら散歩
 - ・分館のことを知らなかったのと、普段車を運転しないため他のところを知らないから分館めぐり
 - ・まち歩きをすることで、地元の歴史を学ぶ
 - ・他市の図書館めぐりもしてみたい
- 図書館は入口
 - ・図書館に来て、いろんな情報にふれ刺激されて、イベントや講演に参加する。
(行けば「何かしらやっている」みたいな)
- みんなが来る図書館
 - ・手話のおはなし会
 - ・友達づくり
 - ・学びがある
- 図書館、ただ静かに本と向き合うところ、あまり観光化してほしくないです
 - ・時間のある時は、静かに本を読む
 - ・調べ物が自分で出来る
 - ・終わりのない物語を読みたい
- たくさんの人でにぎわっている図書館を見て笑顔の仲間に加わりたい、新しい出会いが待っているような予感がする
 - ・おはなし会や読み聞かせなどで子供をふれあう
 - ・自動車図書館が来る時に地元で手伝いたい
 - ・月1回くらい本の修理とか整理にかかわりたい（車の運転ができる間）

●町と私と家族と図書館

- ・町の町の人達のための町作りの図書館であって欲しい
- ・子供たちとの勉強、憩いの場であって欲しい
- ・防災学習などの町を守るための図書館であって欲しい

●ふらっと立ち寄り、何となく時間が過ごせる場所、書架を回って気になる本を手にとったり、展示物から新しい情報を得たり

- ・1人でいても1人でない落ち着ける場所、いい感じの距離感
- ・本や人、思いがけない出会い

●図書館が利用者に提供するサービスの速度が大事

- ・忘れた頃に届く資料・本は役に立たない
- ・本や資料がリクエストすればすぐに届く態勢を如何に作るか
- ・目録や資料検索のサービスが素早い！

●自分の好きな本を推してほくそ笑む、好みの本を見つける

- ・読んで面白かった本を人にもおすすめしたい、話したい欲があるから、図書館で展示企画してみたい
- ・時間を気にせず、本を探したい

●土曜日、日曜日に娘と2人で図書館で本を借り、コーヒーのコーナーでのんびりして過ごす、ボランティアで周りの手入れは私のあいている時間にする

●図書館は私の散歩コース ～歩いて、読んで、くつろいで、おしゃべりして～

- ・図書館まで歩いて健康になる（知と楽しみの拠点に）
- ・図書館のくつろぎスペースで、ぼんやりとして知りあいとおしゃべりして、まちのこれからを考える
- ・明るく、美しい外観の図書館を眺めていたい

●ボランティアとして協力出来ることを協力していきたい

- ・趣味の展示・演奏
- ・読書会の運営、仲間作り

●自主的、主体的な市民となるために、本市の現状の課題の共有。例えば、公共交通は毎年数千万、億ほどの支援金が税金から補填されている。使わずにお金だけ払うよりも使ったらいいか、話し合いの場があれば。今回の図書館ワークショップのように、市民が話し合う場作りに期待し、積極的に参加したい。

- ・課題の抽出の場、情報共有の場
- ・話し合いの場作り、どんなまちにしていきたいか
- ・自分は何ができるのか、自主的・主体的な行動につながる拠点づくり

●家族で図書館に来て、好きな本を見つけて読書をする

- ・本の感想を話し合う
- ・お昼には、外でお弁当を広げて食べる
- ・本からも家族からもパワーをもらって笑顔になる

●図書館へ・・・行かへん？「図書館へ一緒に行きましょう」

- ・高野地域協議会では、「自家所有有償運送事業」を始めています（4/1～）。会員の方は新中央図書館への送迎に応じられます
- ・EVで来ても安心なところ、再エネ利用もネ！！

- 図書館の利用は基本的にブラウジングと集中的調査の2つです。これを組み合わせてシンプルに使うことを考えます
 - ・新鮮な資料が大量に供給され、資料の多様性が維持されること
 - ・読者の知的好奇心に共感できる司書補の配置と育成
 - ・市民活動は市民の自主性にまかせる、そういう空間にする
- 新しい図書館での過ごし方について！！
 - ・久しぶりに図書についての会合に出会い本の素晴らしい事を思い返しました！
 - ・新しい図書館には期待しますが、新しい図書館に多くの市民に愛され末永く活用されることを願います
 - ・分館については、隅々まで手の届いたサービスが出来るのかにかかっていると思います。
中央図書館とともに分館の大切さにも目を向けて欲しいと思います
- 新しい図書館では、くつろげるスペースとイベント（ギャラリー）スペースを分館には充分な開架スペースと子どもと読めるスペースを市民の交流の場、つなぐ場、スペースを！
 - ・本を選んで手元で読んで現在は借りている。高齢者でも本を選べ、ゆっくりそのひとときを過ごせる場に、朝から本を借りに行き、ギャラリーで展示を観て過ごせる場
 - ・いろいろな市民のとりくみが行われているが、その発表できる場、市民の交流できる場、子どもとも本が読め、遊べる場にも
 - ・分館も地域のつながり、気楽に子どもと一緒に行って本を選べ、一緒に読めるスペースがある場に、孫と一緒にに行ける場に、学校図書館充実を
- このワークショップに参加した理由は、図書館を複合施設の中に作ってほしいーということを言いたかった！
 - ・西駅前東側の市有地の有効活用
 - ・町の活性化、発展に役立つ施設
 - ・このワークショップに参加して、同意見の方も多数おられたが・・・
（この考え方が取り入れられるだろうか）
- 子育てを楽しくできる図書館
 - ・絵本の充実
 - ・絵本の楽しさを共有できる（おすすを紹介、よみきかせイベント）
 - ・気軽に行ける、行きたいと思える（子ども用スペースの充実）
- 1日ひまな時、図書館に来てコーヒーを飲んだり、好きな本を読んだりして楽しみたいと思います
 - ・本の交換会をしてほしい
 - ・大人も楽しめる読み聞かせ、絵本などを映像化する
- 田原市のお話を聞いて図書館のイメージがとても身近なものになった。市民の声・願いを形に変えてくれる場でもあることを知った。若い人たちが楽しく活動できる場になってほしい。子どもたちと本をつなげる為には学校の図書館司書を市に何人か配置してほしい。
 - ・朗読や読み聞かせのボランティアが活動できるイベントスペースを
 - ・ゆっくりとお茶して、本を選んで一日過ごす
- 未来ある子どもや若者の支援、生きがい見つけのお手伝い
 - ・周りを気にすることなく共に過ごせるスペースで
 - ・大好きを見つけ、行動に移せる情報をゲットする場
 - ・より大きな出会いにつなげる場にしたい

- ハングル検定、受験まで毎日図書館に通う。休憩中は韓国映画・ドラマを視聴する。韓国料理のキッチンカーで飲食する。
 - ・ハングルサークルは中央図書館内のグループルームで
 - ・ハングルサークルで調理室を借りて調理、会食
 - ・韓国俳優・女優さんのトークイベント、階段ホール、歌手さんのライブトークイベント
- 図書館と学校をつなぎます！！
 - ・図書館司書さんをもっと学校に呼びます！→移動図書館・レファレンス
 - ・学校にいる図書館ナビゲーターになります！→選書・授業支援
- 舞鶴中央図書館を拠点にゼミ合宿 ～舞鶴に触れる、学ぶ、歩く、交流する
 - ・舞鶴の歴史・文化・産業等、司書さんより資料提供とレクチャー
 - まちを歩いてインタビュー、市民と交流 →図書館に戻ってまとめ
 - 市民広場で発表会
- ロータリーの花壇を大切にしてほしい。職員さんと利用者が共に主体となれる図書館
 - ・司書さんを主幹級に！！
 - ・花を植えたい・・・
 - ・愚痴の言える場所
- いくつになってもゆったりと自分さがしができる場所としての図書館。そしてコミュニティを広げる場所
 - ・やってみたいこと、好きなことを広げる
 - ・家族・身近な人（シルバーも乳幼児も）とゆったり過ごせる図書館機能（設備）
 - ・ともに作る（（協力）（思いや考えを届けられる））
- 解き放たれた三つの空間 ①時間 ②空間 ③仲間 ⇒想像の三要素
 - スマホ無しで図書館を利用する → DVD、CD、PC 等々、映像、音楽、講演等
 - 少し広いスペースと階段教室 →庭（野外）で体操教室、健康教室
 - ・建物全体がサイン、コサインで設計してある物件・・・幼児遊具コーナー、各部屋はガラス張りオープン
 - ・自分の研究テーマを深掘りする為の資料に囲まれる。自分の姿がある。
 - ・絵画、書、写真、手芸、その他各時期、各地の作品の常設スペースが欲しい
 - ・設置テーブル毎に椅子を変化させ、自由な姿勢で読めるよう工夫し、照明については最低手元で1000lxは欲しい
 - ・書籍については新刊だけでなく、各個人の蔵書を開架できるようスペースが充分にあれば良い
 - ・車いすによる利用者、目線の低い子どもコーナー、展示、大文字文書、行政文書の公開、起案者・決裁者が判明する文書類の公開
 - ・分館には司書を配置されたい・・・今までの公民館職員では十分なサービスが提供できない
 - ・中央図書館の仕様書に基づく面積、経費はどの程度考えているか？
 - ・海洋に関する資料、資格取得、遊び・・・
- 利用者として図書館に通いたい！！夏休みぐらいはアルバイトでやってもらえるかな？
 - ・1日図書館で利用者として過ごし、本をゆっくり読んだり新しい学びをみつけたりしたい
 - ・学校ボランティアとしてお手伝いできればいいな
 - ・夏休みぐらいは、嫌がられるかもしれないけれどお手伝いしたいな

- 家ではなく職場でもない場所（サードプレイス）、自分がゆっくりして楽しむ、学ぶ（食べる、つくる、色んなこと）のできる所、その上で時々は何かお手伝いできたら。
 - ・読み聞かせ、片付けなどを通じてゆるやかな新しいつながりがあれば（つながりはゆるやかでたくさんあるのが良いと思う）
 - ・フリースペースで飲食するだけでなく、手作りなど個人が好きな or 得意な作業できれば（外の景色をみながら編物とか）
 - ・どんなことを手伝えるのかがまだわからない
- 友人と、研究課題について資料を用いつつ語って、休憩に本（短編）を読む
 - ・化学系の専門書が欲しい
 - ・意見交流（会議室？多目的室？）の場が欲しい

<ワークショップの様子>



<意見シート>

